

2025.12.1-2026.3.31 青森県・函館観光キャンペーン

ひと旅 ふた旅、めぐる旅。

青森＝函館

AOMORI

HAKODATE

あおもり紀行
特別版



JR
JR東日本

JR
JR北海道

Amazing
AOMORI

北海道新幹線開業10周年
15th
東北新幹線全線開業15周年

この冬はわがままに 北の幸せ、めいっぱい



この冬はわがままに 北の幸せ、めいっぱい

海の幸に山の幸、美味しいものを食べた時の幸福感、
自然が生んだ、奇跡のような絶景を見られる幸運、
そこでしかできない体験や学び、出会い。
たくさんの幸せを一度の旅で味わいたい！
そんなわがままをかなえるのが、
青森と函館をめぐる旅。
今年の冬は自分へのご褒美に、
北の幸せをめいっぱい楽しみましょう。

青森県へのアクセス

飛行機、新幹線、県内の交通機関も 青森県のアクセス情報をチェック！

旅のプランを立てる際には、各種交通機関の運行状況を確認して計画的に。右の二次元コードでは青森県へのアクセスと、県内の交通機関をわかりやすくご紹介！



アクセス情報は
こちら！

各主要都市から青森県への所要時間

札幌：飛行機で45分
函館：新幹線で1時間15分
仙台：新幹線で1時間30分
東京：新幹線で3時間、飛行機で1時間20分
名古屋：飛行機で1時間20分
大阪：飛行機で1時間25分

新幹線なら約1時間 青森、函館、めぐるなら

新青森駅から新函館北斗駅まで新幹線で約57分。津軽海峡を渡ると言えど、意外と気軽にめぐる距離。例えば2泊3日でも、十和田市でアートや奥入瀬渓流、八戸市で横丁を楽しみ、青森市や弘前市で文化や自然を堪能し、函館市で食と夜景を見て帰るなんてルートも。もしくは大間町でマグロを食べ、フェリーで函館入りという手だってある。めぐる旅の可能性は無限大。



参考ルート 2泊3日でめぐるなら…

1日目 08:30 東京駅発 → 11:30 八戸駅着 → 八食センターで昼食 → 13:30 バスで十和田市へ → 15:00 十和田市現代美術館 → 18:30 奥入瀬渓流水瀑ツアーに参加 → 十和田湖付近で宿泊

2日目 09:00 バスで青森駅へ → 12:00 青森魚菜センターで青森のつけ井の昼食 → 13:30 ねぶたの家 ワ・ラッセを見学 → 15:20 電車で弘前へ → 16:30 弘前城見学・冬に咲くくら ライトアップ → 19:30 電車で大鰐温泉へ。スナック巡り後、大鰐温泉の宿で宿泊

3日目 07:00 弘前を出発 → 09:30 函館駅着 → 10:00 金森赤レンガ倉庫 → 12:30 函館山 → 15:00 五稜郭 → 18:40 新函館北斗駅発 → 23:10 東京駅着

青森と函館、お得なキャンペーンでめぐろう

ひろはこ冬の観光キャンペーン



Art by iXima / 雪ミク ©CFM

初音ミク派生キャラクター「雪ミク」と連携し、弘前と函館をつなぐさまざまなコンテンツが2025年12月1日から2026年3月22日まで展開。フォトスポットパネルの展示やAR企画などを開催。



ツガルツナガル 湯らり津軽周遊バス



津軽の魅力をめいっぱい楽しめるモデルコースを提案し、エリア内の観光、温泉など計32の施設に入場できるデジタルチケットが販売中。2025年10月から2026年2月まで、詳細は二次元バーコードへ。



「ひと旅 ふた旅、めぐる旅。」 青森＝函館

～あおもり紀行特別版～

CONTENTS

- P.02 _ INDEX
- P.04 _ アクティビティ
- P.06 _ 絶景
- P.08 _ ライトアップ
- P.10 _ 定番スポット・グルメ
- P.12 _ 祭りと文化
- P.14 _ ほろ酔い

「ひと旅 ふた旅、めぐる旅。青森＝函館」 ～あおもり紀行特別版～の使い方

青森県と函館市を中心とする北海道の道南エリアの観光情報をテーマごとにご紹介。青森県を構成する津軽(青)、南部(緑)、下北(オレンジ)の3エリアと、道南エリア(紫)でそれぞれの情報を色分けしています。

青森県の公式観光情報サイト 「Amazing AOMORI」

2025年12月から2026年3月まで「ひと旅 ふた旅、めぐる旅。青森＝函館」をキャッチフレーズに青森県・函館観光キャンペーンを開催。「Amazing AOMORI」内の特設ページにはさまざまなキャンペーン情報が掲載されています。



必ずお読みください(注意事項)

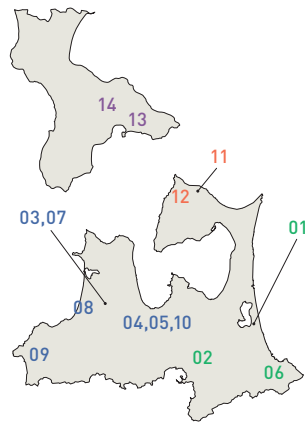
※各施設、イベント等の定休日や開催日、営業時間、料金、内容の詳細等については、それぞれの連絡先に直接お問い合わせください
※当ガイドブックに掲載されている情報は2025年10月～2026年3月のものです(2025年10月1日現在)。商品内容、料金は各種データが変更となる場合や、時期による変動や臨時休業等で利用できない場合があります。予めご利用の際にご確認ください ※掲載写真はすべてイメージです。実物と異なる場合があります ※天候・気象条件等により記事・写真のような景色が見られない場合があります ※料理等は内容が変わる可能性があります ※掲載されている地図の位置や縮尺、所要時間等はおおよその目安となるものです ※掲載の各観光施設・店舗等の休業日・営業時間及びイベントの開催日時等は変更になる場合があります。予め出発前にご確認ください ※実際の営業終了時間とは別に、最終入館時刻、ラストオーダーの時刻が定められている場合があります ※掲載の電話番号は、各施設のお問い合わせ用のため、現地の番号と異なる場合があります。カーナビ等での位置検索で実際とは異なる場所を示す場合があります ※掲載の表示金額はすべて税込です。変更になる場合がありますので、掲載施設へご確認ください ※当ガイドブックに掲載された内容により生じたトラブルや損害等については、補償いたしかねますので、予めご了承願います



函館市出身で青森県にもゆかりがあるイラストレーター・水沢そらが描いた表紙にはふたりの女の子が。ひとり函館の名物のイカを、もう一人は青森県大間町のマグロをモチーフにしたワンピースを纏い、青森＝函館めぐり旅へと誘います。弘前の「冬に咲くくらライトアップ」や、光あふれる函館の「五稜郭」、「金森赤レンガ倉庫」、青森県南部地方の「八幡馬」…、さらにこちらのページでも、めぐる旅の楽しさをふたりでみなさんに語り掛けています。

表紙イラスト：水沢そら
発行：(公社)青森県観光国際交流機構

北国の雪を遊ぶ 今しかできない アクティビティ



雪深い冬の季節だからこそ楽しめる、とっておきの体験を。美しい白銀世界に没入しよう

©Maya Matsuura



十和田湖畔で極上の リラックスタイム

ロシア製バレルサウナで身体の芯まで温まったら、雪景色広がる十和田湖へ(水温1℃～5℃)。非日常の“ととのい”をどうぞ。

雪深き温泉地で こころを鎮める

ときには厳しい雪も降る冬の屋外で、凜とした空気に包まれながら坐禅体験。心と体で「北国の冬」を感じた後は温泉で温まろう。

青森市
極寒坐禅会
ごっかんざぜんかい
☎ 017-738-6400 (酸ヶ湯温泉旅館) / JR奥羽本線青森駅よりバスで約70分

01

氷結の宝湖で遊ぶ冬の冒険

青森県で最も大きな湖・小川原湖は、淡水と海水が混じり合う汽水湖。シジミやワカサギなど、さまざまな水産物に恵まれているのが、古くから「宝湖」と呼ばれる理由。冬になると湖面は一面の氷に覆われ、景色は一変。美しさとともに、特別な体験をもたらしてくれる。氷上を歩きながら雪原の静けさを味わう氷上ウォーク、凍った湖面に穴を開けて楽しむワカサギ釣り(姉沼)、氷の隙間から氷上に繰り出すアイスキャックと、多彩なアクティビティが用意されている。大自然の雄大さと湖の恵みが織りなすこの地でしか味わえない時間は、冬の小川原湖ならではの贅沢なひととき。



三沢市
小川原湖 氷上アクティビティ
おがわらこ ひょうじょう
アクティビティ
☎ 0176-59-2311 (三沢市観光協会) / 青い森鉄道三沢駅より車で約25分

雪原を歩き、冬の恵みに出会う

酸ヶ湯温泉の雪原を歩くスノーシュートレッキングと地元の風土や食文化を一度に楽しめる冬限定プログラム。



十和田市
十和田サウナ
とわだサウナ
✉ info@towadasauna.com / JR東北新幹線八戸駅より車で約100分

奥津軽の大雪原と 青森ひばの森へ

雪遊びアイテム「スノーハイク」や「スノーシュー」を活用して津軽平野&ひばの森をトレッキング。

冬の海岸線を歩く 絶景トレイル

八戸市から福島県相馬市まで続く全長1,000kmを超えるロングトレイル。澄んだ冬の空気が絶景を際立たせる。

八戸市・階上町
みちのく潮風トレイル
みちのくしおかぜトレイル
☎ 0178-51-8500 (種差海岸インフォメーションセンター) / JR八戸線種差海岸駅より徒歩で約5分

05



04



青森市
Winter Bites
ウィンターバイツ
☎ 017-718-8557 (フォーライド) / JR奥羽本線青森駅よりバスで約70分

03

06



07

雪上を駆け抜ける新感覚ライド

専用タイヤを装着した自転車で五所川原市飯詰地区の雪原を疾走。スキーともスノボとも違う、冬の雪遊び。

五所川原市
スノーサイクル
スノーサイクル
☎ 0173-35-2111 (五所川原市商工観光課) / JR五能線五所川原駅より車で約13分

静寂の森と“黒い青池”に出会う

冬だけ黒く染まる青池を目指し白神山地を雪中ハイク。白銀の森で動物の足跡を探しながら自然の神秘を体感。

深浦町
十二湖スノーハイク
じゅうにこスノーハイク
☎ 0173-77-3311 (アオーネ白神十二湖) / JR五能線十二湖駅より送迎バスで約5分

09



極寒の海で昔ながらの 布海苔採り

津軽海峡の厳しい冬に行われる布海苔採り。1年で一番おいしい時期の布海苔採りの後は、温泉が待っている。

風間浦村
布海苔採り体験ツアー
ふのりとりたいけんツアー
☎ 0175-35-2111 (風間浦村産業建設課) / JR大湊線下北駅よりバスで約70分 ※2026年2月下旬～3月上旬

11



13



清流を満喫する冬のカヌー体験

函館湯の川温泉の奥に位置する汐泊川を川下り。雪景色の中を静かに漕ぎ進めば、自然との一体感を楽しめる。

函館市
汐泊川カナディアンカヌー川下り
しおどまりがわカナディアンカヌーかわくだり
☎ 080-9615-0331 (HAKODATE ADVENTURE TOUR) / JR函館本線函館駅より車で約30分

道南

14



凍った湖を進む幻想のそり旅

大沼湖の氷上を大きなそりで進み、点在する島々をめぐるツアー。大沼湖の絶景パノラマビューを堪能。

七飯町
氷上島巡り そりツアー
ひょうじょうしまめぐり そりツアー
☎ 0138-67-2229 (大沼合同遊船) / JR函館本線大沼公園駅より徒歩で約7分 ※2026年1月下旬～2月末

雪に包まれた「ゲル」で優雅な滞在
モンゴル遊牧民の移動式住居「ゲル」に泊まり、薪ストーブで暖まる。雪原の静寂を五感で味わえる冬限定体験。

つがる市
つがる地球村
つがるちきゅうむら
☎ 0173-26-2855 / JR五能線陸奥森田駅より車で約6分

08



静寂に包まれるブナの雪森

名湯・酸ヶ湯温泉に広がる雪森をガイドと一緒に散策。凜とした空気とブナ林の美しさで静寂に浸る体験を。

青森市
酸ヶ湯スノーシューハイキング
すかゆスノーシューハイキング
☎ 017-752-6705 (また旅くらぶ) / JR奥羽本線青森駅よりバスで約70分



10

ヒバの森を歩く癒しの雪旅

下北半島を盛り上げる「マグ女」発の体験プログラム。マグ女をガイドに雪道を歩いた後は温泉へ。

むつ市
スノーシューで、マグ女と下北半島のヒバの森探検
スノーシューで、マグじよとしもきたはんどうのヒバのもりたんけん
☎ 0175-37-5073 (Yプロジェクト) / JR大湊線下北駅から車で約50分

12



青森県のおすすめスキー場

岩木山を望む爽快スキーリゾート



津軽富士・岩木山を正面に滑走できる絶景ゲレンデ。多彩なコースで家族から上級者まで楽しめる。
スプリングスキーリゾート
スプリングスキーリゾート
☎ 0173-72-1012 / JR五能線鯉ヶ沢駅より車で約20分

子どもも大人も我を忘れる雪の遊び場



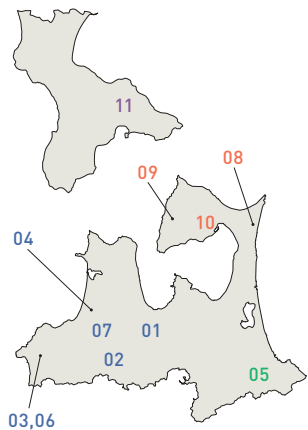
初心者やファミリーに人気のゲレンデ。そり遊びや雪だるま作りなど、気軽に雪と触れ合えるスポット。
創遊村229スキーランド
そうゆうむら229スキーランド
☎ 0179-32-2100 / JR東北新幹線二戸駅より車で約50分

ローカルに愛される小さなゲレンデ



初心者や子どもたちののびのび滑れるゆったりした空間が魅力。
みどりの大地とロマンの森公園スキー場
みどりのだいちとロマンのもりこうえんスキーじょう
☎ 0175-63-4848 (12月20日～2026年3月1日以外) ☎ 0176-56-4148 東北町役場商工観光課 / 青い森鉄道乙供駅より徒歩で約15分

雪が生み出す 自然の美しさ 今しか見られない 絶景



どうしても一度は見えておきたい、心を震わせる奇跡的な風景を一生ものの思い出に



青森市

八甲田の樹氷
はっこうだのじゅひょう
☎ 017-738-0343 (八甲田ロープウェイ) /
JR 奥羽本線青森駅よりバスで約 80 分

雪と風が創る“スノーモンスター”

冬の八甲田連峰では、シベリアから吹きつける強風と豪雪がアオモリトドマツの木を包み込み、巨大な冰雪の造形「樹氷」を生み出す。別名“スノーモンスター”とも呼ばれるこの風景は、青森の冬を象徴する絶景。八甲田ロープウェイに乗れば、眼下に広がる真っ白な樹氷原を一望。また、ガイド付きスノーシューツアーでは、迫力ある樹氷を間近で体感。光と影で表情を変える樹氷群は、訪れる時間帯によっても違った美しさを見せる。厳しい寒さと雪が生み出す、まさに“今しか見られない”自然の芸術作品。

01

02



雪に映える江戸情緒の 木造アーケード

雪景色に黒い木造のアーケード「こみせ」が美しく映える黒石の冬。江戸時代から続く情緒ある街並みを散策。

黒石市

中町こみせ通り
なかまちこみせどおり
☎ 0172-52-3488 (黒石観光協会) / 弘南鉄道黒石駅より徒歩で約 10 分

04



ひょうたん形の 絶景露天風呂

日本海と一体になったような、ひょうたん形の露天風呂。冬の荒波と雪景色を眺めながら入る湯は格別。

03

深浦町

黄金崎不老ふ死温泉
こがねざきふろうふしおんせん
☎ 0173-74-3500 / JR 五能線ウエスノ椿山駅より車で約 5 分または送迎バス

雪原に続く千本鳥居の神秘

真っ白な雪の中に朱色の鳥居が連なる圧巻の光景。冬の澄んだ空気に映える景観は、幻想的な雰囲気醸し出す。

つがる市

高山稲荷神社 たかやまなりじんじや
☎ 0173-56-2015 (高山稲荷神社) / JR 五能線五所川原駅よりタクシーで約 30 分、またはバスで約 40 分(高山神社入口下車後タクシーで約 5 分) ※五所川原駅からのご案内は五所川原市観光協会(五所川原駅隣 ☎ 0173-38-1515)へ

文人たちを魅了した光と海の絶景

八戸市の種差海岸は、荒々しい岩礁と芝生地が広がる海岸美で知られ、作家の司馬遼太郎や画家の東山魁夷をも魅了。特に冬の夜明け、水平線から昇る朝日は、冷たい海を黄金色に染め上げ、静寂に包まれた景観が一変。雪と朝日のコントラストは、この季節だけの感動的な一瞬。

八戸市

種差海岸の朝日 たねさしかいがんのあさひ
☎ 0178-51-8500 (種差海岸インフォメーションセンター) / JR 八戸線歌駅より徒歩で約 10 分



06

雪に彩られる雪岩の舞台

夕陽の名所としても知られる、波に削られた奇岩が広がる千量敷。白雪に包まれた海岸線近くの岸壁には、写真のような「氷のカーテン」が出現することもある。

深浦町

千量敷海岸 せんじょうじきかいがん
☎ 0173-82-0875 (深浦町観光協会) / JR 五能線千量敷駅より徒歩で約 1 分



08

風雪に たたずむ 野生馬の迫力

馬が放牧されている本州最北東端の岬、尻屋崎周辺の牧草地。極寒の雪原にじっと佇む寒立馬のシルエットはなんとも力強い。

東通村

尻屋崎の寒立馬 しりやざきのかんだちめ
☎ 0175-27-2111 (東通村商工観光課) / JR 大湊線下北駅より車で約 40 分



10

むつ市

薬研温泉
やげんおんせん
☎ 0175-22-1111 (むつ市観光・シティプロモーション課) / JR 大湊線下北駅より車で約 40 分

雪見露天で癒される 秘湯

ブナやヒバの木に囲まれた渓谷の温泉郷。雪に包まれた露天風呂に浸かれば、幻想的な冬景色と温泉のぬくもりに癒される。

佐井村

仏ヶ浦
ほとけがうら
☎ 0175-38-2111 (佐井村役場) / JR 大湊線下北駅より車で約 100 分

雪が映す白亜の奇岩群

奇岩が林立する仏ヶ浦。冬は雪化粧が加わり、海の青と白のコントラストが生み出す絶景は息をのむ美しさ。

09



道南



11

大沼と駒ヶ岳を望む絶景ゲレンデ

全長 4km のロングコースが魅力のスキー場。天気の良い日の山頂からは大沼や駒ヶ岳、噴火湾まで見渡せる。

七飯町

函館七飯スノーパーク
はこだてななえスノーパーク
☎ 0138-67-3355 / JR 函館本線大沼公園駅より車で約 15 分



05



07

白銀に架かる 日本一長い木造三連太鼓橋

全長 300m の木造橋が雪景色に映える姿は圧巻。冬の津軽富士・岩木山を背景に、静かな湖面に美しく浮かぶ。

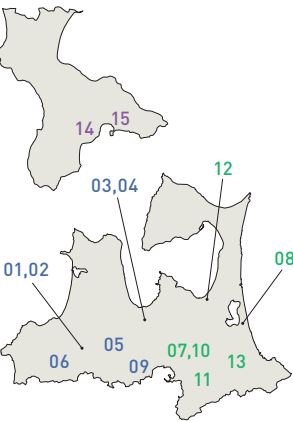
鶴田町

鶴の舞橋 つるのまいはし
☎ 0173-22-2111 (鶴田町役場商工観光課) / JR 五能線陸奥鶴田駅より車で約 15 分
※ 2026 年 3 月 31 日まで通行止め。橋の見学は可能

雪と光の競演

美しいライトアップに

目も心も奪われる



漆黒の夜に灯る雪と光の舞台。
幻想的な光景に包まれれば、冬の
旅がもっと特別に



02

北国に灯るクリスマスの温もり

青森県のランドマーク「アスパム」で開催する、青森ならではのクリスマスイベント。高さ約10mの大型クリスマスツリーには、約2万球のLED電球も飾られ、会場では青森らしさあふれるクリスマスフードも。

クリスマスマーケット in アスパム
クリスマスマーケット イン アスパム
☎ 017-722-5080（青森県観光国際交流機構）／JR奥羽本線青森駅より徒歩で約10分 ※2025年12月12日～25日

05



01

冬に咲くさくら ライトアップ
ふゆにさくさくら ライトアップ
☎ 0172-37-5501（弘前市立観光館）／JR奥羽本線弘前駅からバスで約15分 ※2025年12月1日～2026年2月28日（弘前公園追手門付近外濠）

雪と光に包まれる弘前城

約150基の雪燈籠や雪像、そして約300基のミニカマクラ。それらに灯るやさしいあかりが、冬の弘前を彩る。

弘前城雪燈籠まつり
ひろさきじょうゆきどうろうまつり
☎ 0172-37-5501（弘前市立観光館）／弘前公園 JR奥羽本線弘前駅からバスで約15分 ※2026年2月6日～11日



04

真っ白なキャンパスに描かれる光

雪原を一步一步踏みしめて描いた巨大アートをライトアップ。夏の田んぼアートと並び、田舎館村の冬の名物。

冬の田んぼアート
ふゆのたんぼアート
☎ 0172-58-2111（田舎館村企画観光課）／弘南鉄道田んぼアート駅より徒歩で約1分 ※2026年1月23日～25日

雪に浮かぶ“冬桜”の幻想

日本一の桜の名所として知られ、春には約2,600本の桜の木が咲き誇る弘前公園。その歴史は、弘前藩主が江戸からソメイヨシノの苗木を持ち帰り植えたことに始まり、今も樹齢100年を超える古木が公園を彩っている。冬の夜には、その桜の木の枝に積もった雪が桜色のライトに照らされ、まるで春が訪れたかのようにピンクに染まるライトアップイベントを開催。雪景色に浮かび上がる幻想的な「冬桜」は、訪れる人の心を温める弘前ならではの冬の風物詩。四季を通じて桜とともに歩んできた街の物語が、冬にしか出会えない光景として輝く。

03



冬の青森の魅力がたっぷり

青森開港400年をイメージした「冬のミニねぶた展示」をはじめコンテナツが盛りだくさん。2月14日には食・酒を堪能できる「青森夜市」の開催や、ねぶたの家ワ・ラッセのホールが一夜限りのディスコ会場に！

あもり冬のワンダーランド
あもりふゆのワンダーランド
☎ 017-723-7211（青森観光コンベンション協会）／青い海公園 JR奥羽本線青森駅より徒歩で約10分 ※2025年12月12日～2026年2月15日

氷瀑を彩る光のアート

高さ33mの乳穂ヶ滝が凍りついた氷瀑に光が当たり、青や白に輝く。自然美とライトアップが融合した幻想空間。

西目屋村 乳穂ヶ滝ライトアップ におがたきライトアップ

☎ 0172-85-2800（西目屋村役場）／JR奥羽本線弘前駅より車で約40分 ※2026年2月1日～15日



06

氷の造形が魅了する、奥入瀬の冬

滝や湧き水が凍り、雪とともに織りなす自然の造形美、奥入瀬の「氷瀑」。夜のライトアップや、地元のガイドとともにめぐる「冬の奥入瀬渓流水瀑ツアー」なども実施。

十和田市 奥入瀬渓流の氷瀑
おいらせけいりゅうのひょうばく
☎ 0176-24-3006（十和田奥入瀬観光機構）／JR東北新幹線七戸十和田駅より車で約60分



08

和の灯りが彩る温泉宿

ねぶた雪灯りやねぶり流し灯籠をはじめ、青森屋の全体がまるで光のお祭りのよう。

三沢市 青森屋 by 星野リゾート
あもりや バイ ほしのリゾート
☎ 050-3134-8094／青い森鉄道三沢駅より徒歩で約15分



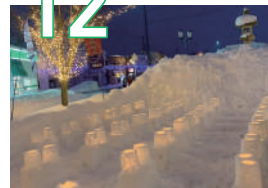
09

街を彩る光の散歩道

美しいLEDライトと友好都市「台中市」の彩りが息づく7色の鮮やかな台湾提灯が街の景色を変える。

平川市 イルミネーションプロムナード
ひらかわイルミネーションプロムナード
☎ 0172-55-5732（平川市経済部商工観光課）／平川市役所本庁舎ほか 弘南鉄道平賀駅より徒歩すぐ

12



のへじ停車場ランタンまつり

雪のランタンが並び幻想の駅舎を演出。参加自由の手作りの灯りが、凍える夜に温かな癒しを届ける。

野辺地町 のへじでいしゃばランタンまつり
☎ 0175-64-9555（野辺地町観光協会）／野辺地町観光物産PRセンター 青い森鉄道野辺地駅より徒歩すぐ ※2026年2月7日（予定）

13



商店街に広がる冬の彩り

五戸町中心部の商店街が、地域の人々の有志で飾った色とりどりのイルミネーションで輝く。

五戸町 Town's イルミネーション
タウンズイルミネーション
☎ 0178-62-7155（五戸町観光協会）／五戸町図書館前芝生広場など JR東北新幹線八戸駅より車で約30分

14



静寂の中に灯るあたたかい光

トラピスト修道院正門へと続く約400mの並木道がライトアップ。12月24日はキャンドルの設置も。

北斗市 北斗光回廊～トラピスト通り並木道ライトアップ～
ほととひかりかいろう～トラピストとおりなみきみちライトアップ～
☎ 0138-73-3111（石別地区観光推進事業実行委員会事務局）／JR北海道新幹線新函館北斗駅より車で約30分 ※12月17日～12月24日



07

光に包まれる現代アート

十和田市現代美術館アート広場が光の演出で神秘的な空間に。アートと雪と光が融合した特別な冬のひとときを。

十和田市 アーツ・トワダ ウィンターイルミネーション
アーツ・トワダ ウィンターイルミネーション
☎ 0176-51-6771（十和田市商工観光課）／十和田市現代美術館アート広場 JR東北新幹線七戸十和田駅よりバスで約40分 ※2025年12月中旬～2026年2月中旬

10



公園に広がる光のファンタジー

「キリストの墓」で知られる新郷村に、冬は幻想的なイルミネーションが登場。村全体を温かく彩る。

11



新郷村 しんごうホワイト イルミネーション
しんごうホワイト イルミネーション
☎ 0178-78-2111（新郷村役場 企画商工観光課）／金ヶ沢農村公園 JR東北新幹線八戸駅より車で約40分 ※2025年12月6日～2026年1月下旬

五稜郭も
ライトアップ！
「五稜星の夢」

☎ 0138-51-4785（五稜星の夢実行委員会・五稜郭タワー）※12月1日～2026年2月28日



道南



15

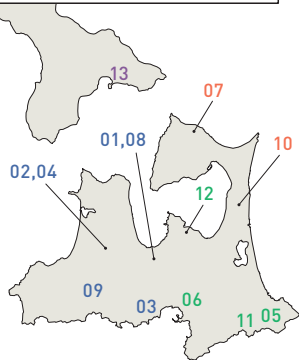
坂道に広がるロマンチックな夜景

港へまっすぐ伸び、函館の街を一望できる坂道。冬はイルミネーションで街路樹と石畳が照らし出される。

函館市 八幡坂 はちまんざか
☎ 0138-27-3535（はこだて冬フェスティバル実行委員会事務局）／市電末広町電停より徒歩で約1分

いま訪れたい 定番スポット・グルメ 冬のお楽しみ

青森といえば！函館といえば！なモノ・コトも、冬を迎えるとまた違った魅力に出会える



レトロ列車でぬくもりの旅

ダルマストーブを積んだ列車が地吹雪の津軽平野を走る。ストーブでスルメを炙れば、タイムスリップしたような鉄道時間に。

五所川原市 津軽鉄道ストーブ列車
つがるてつどうストーブレっしゃ
☎ 0173-34-2148 (津軽鉄道) / 津軽鉄道五所川原駅より発着

早起きして日本最大級の朝市へ

太平洋をのぞむ館鼻岸壁では毎週日曜日の朝に全長約800m、約300店の巨大朝市が出現。八戸の海産物・農産物だけでなく、県内から出店が集まる。

八戸市 館鼻岸壁朝市 たてはながんべきあいち
☎ 070-2004-6524 (湊日曜朝市会事務局・友宏水産 鶴ヶ崎)
JR八戸線陸奥湊駅より徒歩で約10分



草間彌生《愛はとこしえ十和田でうたう》2010年
撮影：小山田邦哉
©YAYOI KUSAMA

06 (ICE CAVE) 2024年
40.5×36.5×30cm
木(セッコク)に胡粉
撮影：瀧原界

十和田市 十和田市現代美術館
とわだしげんだいびじゅつかん
☎ 0176-20-1127 / JR東北新幹線七戸十和田駅より車で約20分

アートと街が一体となる空間

美術館だけでなくまち中にも草間彌生などの作品が点在。北海道を拠点に活動する彫刻家・国松希根太の美術館で初の個展を12月13日から2026年5月10日まで開催。



© Yoshitomo Nara

青森市 青森県立美術館
あおもりけんりつびじゅつかん
☎ 017-783-3000 / JR奥羽本線青森駅より車で約10分



迫力満点! 雪を蹴散らし走る列車

豪快に雪を飛ばしながら進む弘南鉄道除雪車両「ラッセル車」。運が良ければ、雪をかき分け走る雄姿を見られるかも。

平川市 弘南鉄道ラッセル車
こうなんてつどうラッセルしゃ
☎ 0172-44-3136 (弘南鉄道)

雪原に浮かぶ白い美術館

奈良美智の「あおり犬」も雪をかぶり、美術館の白い建築も雪と一体化したような佇まいに。館内にあるマルク・シャガールによるバレエ「アレコ」の背景画全4点(縦約9m×横約15m)も必見。アート県とよばれる青森の象徴的な美術館。



文豪・太宰治の生家を訪ねて

津軽の大地主の息子として生まれた太宰治。青森ヒバを使い明治時代に建てられた生家が太宰治記念館「斜陽館」に。

五所川原市 斜陽館
しゃようかん
☎ 0173-53-2020 / 津軽鉄道金木駅より徒歩で約7分

青森の定番温泉でくつろごう



黒石市

電気のない秘湯で、夜はランプの灯りだけ。雪深い溪谷に響く湯けむりと静寂に癒される。

黒石市 ランプの宿 青荷温泉
ランプのやど あおにんせん
☎ 0172-54-8588 / 弘南鉄道黒石駅よりバスで約40分



東北町

亜炭層を通過して湧出する温泉で、その色の黒さが特徴。天然保湿成分をたっぷり含み、肌に潤いを与える。

東北町 東北温泉 どうほくおんせん
☎ 0175-63-3715 / 青い森鉄道乙供駅より徒歩で約5分



外ヶ浜町

津軽半島の最北端、龍飛崎の高台には天然温泉が。夜には海峡を渡る大型船の灯りや星空が照らす。

龍飛崎温泉 たっぴさきおんせん
☎ 0174-38-2011 (ホテル竜飛) / JR北海道新幹線奥津軽いまべつ駅よりわんタクフリ便で約40分

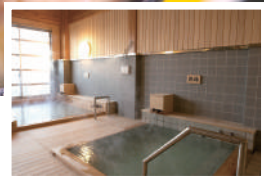
冬の定番グルメも 余すところなく

タクシーでめぐる 旬の鮫鯨と海辺の温泉郷

青森県は全国でもトップクラスの鮫鯨の水揚げ量を誇り、旬は11月晩秋～初春。下北半島の名物で、冬は鍋にあん肝に。そんな鮫鯨づくしの定食と下風呂温泉「海峡の湯」をタクシーでめぐるツアーを実施。食と温泉を同時に楽しめる下北ならではの冬のプログラム。



風間浦村 本州最北・海辺の温泉郷と活鮫鯨づくし旅
ほんしゅうさいほく・うみべのおんせんきょうと
かつあんこうづくしたび
☎ 0175-31-1270 (しもきたツーリズム) / JR大湊線下北駅集合



ホタテにマグロ、市場で好きな具材を選びご飯にのせて自分だけの丼を作ろう。

青森市 青森のつけ丼
あおもりのつけどん
☎ 017-763-0085 (青森漁業センター) / JR奥羽本線青森駅より徒歩で約5分



日本一のりんごの生産量を誇る弘前だけにアップルパイも多種多様。

弘前市 アップルパイ
アップルパイ
☎ 0172-37-5501 (弘前市立観光館) / 弘前市街地中心に各店舗で提供



寒さが増すと旨みを増す横浜町のなまこ。年に数時間しか漁が許されないレアもの。

横浜町 横浜なまこ
よこはまなまこ
☎ 0175-78-2111 (横浜町役場)



太く甘い南部太ネギ、菊の花を丸めた「菊ボール」をあつあつ鍋で。

南部町 南部太ネギと菊ボールの鶏鍋
なんぶふとネギときくボールのとりなべ
☎ 0178-76-1001 (南部町農林漁業体験実習館チェリウス) JR東北新幹線八戸駅より車で約30分 ※11/1～3/31提供、要予約



全国屈指の生産量を誇る平内のホタテ。刺身も焼き物も御膳で一度に味わえる。

平内町 平内ホタテ活御膳
ひらないホタテかつござん
☎ 017-755-2118 (平内町役場水産商工観光課内) / 平内町の飲食店で提供 ※漁の状況により提供できない場合あり

直売所や道の駅で青森の定番グルメを見つけよう！



特産の生鮮品やりんごを使用した加工品が並ぶ。併設カフェのサブカレーも人気。

藤崎町 ふじさき食彩テラス
☎ 0172-65-3660 / JR奥羽本線北常盤駅より徒歩で約10分



北海道新幹線の奥津軽いまべつ駅直結。津軽海峡の玄関口として海の幸や郷土料理も堪能できる。

今別町 道の駅いまべつ 半島プラザアスкул
☎ 0174-31-5200 / JR北海道新幹線奥津軽いまべつ駅直結



陸奥湾を望み、名物のトマトだけでなく新鮮な農産物や加工品が揃う。

蓬田村 よもぎた物産館マルシェよもぎた
☎ 0174-31-3040 / JR津軽線蓬田駅より車で約5分



馬肉ラーメンや地元野菜が人気。敷地内には鷹山宇一記念美術館が隣接。

七戸町 道の駅しものへ
☎ 0176-62-5777 / JR東北新幹線七戸十和田駅より徒歩で約5分

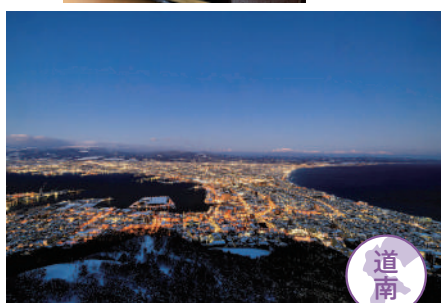


六戸町産メープルシロップを使ったスイーツや加工品をはじめ、町の特産品や農作物を販売。

六戸町 道の駅ろくのへ「メイプルふれあいセンター」
☎ 0176-55-4134 / JR東北新幹線八戸駅よりバスで約20分



鹿部町の定番「たらこ」を食べるなら「浜のがあさん食堂」へ



世界に誇る 三大夜景のひとつ

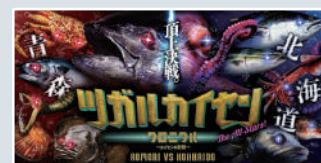
標高334mの山頂から望む夜景は「100万ドルの夜景」と称される絶景。冬は澄んだ空気でいっそう輝きを増す。

函館市 函館山 はこだてやま
☎ 0138-23-3105 (函館山ロープウェイ) / 市電十字街電停より徒歩で約10分



マグ女のセイカン博覧会

旅館の女将、旅行会社のプランナーなど青森と道南のパワフルな女性が集まった津軽海峡マグロ女子会。津軽海峡エリアを周遊する寄り道旅を提案。

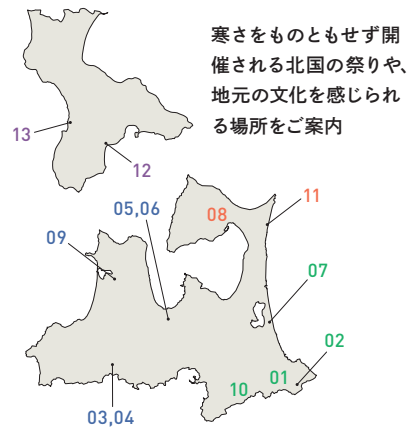


ツガルカイセン

青森県と北海道で漁獲される新鮮な海産物を題材としたキャンペーン。サイトではこれまで取り上げた海産物や、それら食材を食べられるお店を紹介中。



冬でも熱い 北国が誇る 祭りと文化



寒さをものともせず開催される北国の祭りや、地元の文化を感じられる場所をご案内



八戸えんぶり
はちのへえんぶり
☎ 0178-70-1110 (VISITはちのへ) / 八戸市中心街で開催 JR八戸線本八戸駅より徒歩で約10分 ※2026年2月17日～20日

春を呼ぶ豊作祈願の舞

八戸えんぶりは、国の重要無形民俗文化財に指定される青森県を代表する冬の祭り。毎年2月、八戸市街に太鼓や笛の音が響き渡り、烏帽子をかぶった舞手たちが田植えの所作を模した舞を披露する。その起源は鎌倉時代にまで遡るとされ、農耕儀礼として五穀豊穡を祈ったのが始まり。特に「太夫」と呼ばれる舞手は勇壮かつ荘厳で、雪のまちに熱気と呼び込むかのよう。子どもたちによるかわいらしい舞や、祝い唄もあり、まち全体が春を待ち望む心とともにする。冬の寒さの中に宿る“祈りと喜び”が、観る人の胸を温めてくれる伝統行事。

02

町に春を告げる 郷土芸能

八戸えんぶりの流れを汲む冬祭り。勇壮な舞や祝い唄が披露され、まちに春を呼び込む。

津軽文化を 体感しよう

弘前ねぶたのお囃子や津軽三味線生演奏を楽しめる。金魚ねぶたの絵付けなどの体験コンテンツも豊富。

津軽藩ねぶた村 つがるはんねぶたむら
☎ 0172-39-1511 / JR奥羽本線弘前駅より車で約10分

冬に楽しむねぶた イベント

夏の風物詩・ねぶたの熱気を再現。ねぶた囃子を聴きながら郷土料理を召し上がれ。

04



NEPUTA sa KADARE ネプタサカダレ
☎ 0172-40-4082 (弘前かだれ劇場) / 津軽弘前屋台かだれ横丁 JR奥羽本線弘前駅より徒歩で約10分

01



レトロな温泉街で 夏の熱狂をふたたび

期間中の毎週土曜日に温泉街を練り歩く「冬ねぶた」を開催するほか、ねぶた鑑賞ツアーや巨大金魚ねぶたの製作ワークショップなどを実施。

浅虫ねぶた 冬の陣
あさむしねぶた ふゆのじん
☎ 017-752-1031 (浅虫温泉共同予約センター) / 青い森鉄道浅虫温泉駅より徒歩すぐ ※2026年1月24日～2月22日

05



農村に伝わる素朴な歌舞伎

明治時代に江戸の歌舞伎役者により伝承されたという奥内歌舞伎。町ぐるみで保存活動をしており、新春歌舞伎が1月に行われる。

奥内歌舞伎 おくないかぶき
☎ 0175-22-1111 (むつ市観光・シティプロモーション課) / 下北文会館 JR大湊線下北駅より車で約5分 ※2026年1月下旬予定



地域に息づく 芸能の競演

冬に開催される郷土芸能発表会。現在まで伝承されている多彩な郷土芸能が披露され、その歴史が感じられる。

11

東通村郷土芸能保存連合会発表会
ひがしどおりむらきょうどうげいのうほぞんれんごうかいはいっぴょうかい
☎ 0175-27-2111 (東通村役場) / 東通村体育館 JR大湊線下北駅より車で約80分 ※2026年1月10日

北前船の町に春を告げる 雛祭り

江差の商家や旧家に代々伝わる雛人形を町中に展示。歴史ある町並みと華やかな人形が織りなす春の催し。

江差・北前のひな語り
えさし・きたまえのひなかたり
☎ 0139-52-0531 (江差商工会内江差町歴まち商店街協同組合) / JR北海道新幹線木古内駅より車で約60分 ※2026年2月上旬～3月上旬



13

1年中ねぶたの 熱狂を体験

実際に運行した大型ねぶたを展示するミュージアム。ハネト体験などのイベントもあり、冬でも青森ねぶたを体験。

ねぶたの家 W・ラッセ
ねぶたのいえ W・ラッセ
☎ 017-752-1311 / JR奥羽本線青森駅より徒歩すぐ



06



07

笑いと風刺が光る 津軽人形芝居

明治期に生まれた伝統人形劇。津軽弁で練り広げられるユーモアで、今も観客の心をつかむ。

金多豆蔵人形劇場
きんたまめじょにんぎょうげきじょう
☎ 0173-58-3573・090-8788-5698 (主宰者・木村蔵) / 津軽鉄道津軽中里駅構内



09

遡れば江戸時代。まける日で運試し

起源は南部藩のころ。「まける日」では町をあげてさまざまなお店で大サービス！キッチンカーや屋台も出てお祭り騒ぎ。

まける日 まけるひ
☎ 0179-20-1111 (三戸町役場) / 三戸町町内 青い森鉄道三戸駅より車で約10分 ※2026年2月上旬予定

10

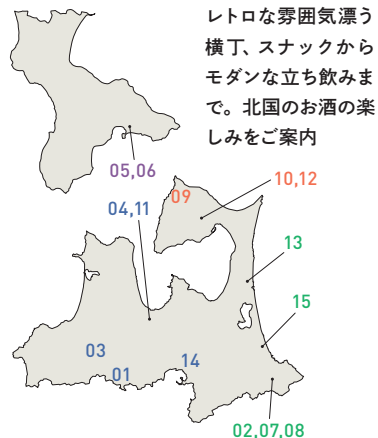


厳冬の海で身を清める 勇壮神事

毎年1月に行われる伝統行事。4人の青年が海へ入り御神体を清める姿は、木古内の冬を象徴する勇壮な祭り。

寒中みそぎ祭り
かんちゅうみそぎまつり
☎ 01392-6-7357 (木古内町観光協会) / JR北海道新幹線木古内駅より徒歩で約10分 ※2026年1月13日～15日

ほろ酔いで もう1軒 旅先ではしご酒



レトロな雰囲気漂う
横丁、スナックから
モダンな立ち飲みま
で。北国のお酒の楽
しみをご案内



大鰐温泉のスナック各店舗で
スナックママカード配布中



港町を遊覧しながら1杯

八戸港をめぐる屋形船。新鮮な魚介料理を肴に地酒を楽しみ、港町の夜景を
堪能できる人気の船上酒場。



八戸市 屋形船みらい号
やかたぶねみらいごう
☎ 0178-35-4415 / JR 八戸線
陸奥湊駅より徒歩で約5分



北海道最大級の屋台村へ

海鮮料理や炉端焼き、ジンギスカンにラーメン、串
焼きなどなど。個性豊かな26店舗が建ち並び、毎夜
地元客も観光客も肩寄せ合って賑わう人気の横丁。

函館市 函館ひかりの屋台 大門横丁 はこだてひかりのやたい だいもんよこちょう
☎ 0138-24-0033 (はこだてティーエムオー)
/ JR 函館本線函館駅より徒歩で約5分



青森の地酒を気軽に堪能

豊盃をはじめ地酒が揃う「さとう」店内には角
打ちカウンターが。日本酒の飲み比べセットもあり、しっかり工夫と手間をかけた絶品おつまみも。

青森市 地酒庵 さとう じざけん さとう
☎ 017-722-3087 / JR 奥羽本線
青森駅より徒歩で約5分



04



函館の風土が育む極上ワイン

フランスの名門と函館の自然が出会い誕生
したワイナリー。見学や食事を通じて本格的な
味わいを楽しめる(要予約)。

函館市 ド・モンティエユ&北海道ワイナリー
ド・モンティエユ アンド ほっかいどうワイナリー
☎ 0138-83-8580 / JR 函館本線桔梗駅より車で約10分



01

温泉街で夜のはしご酒

写真はマスターが切り盛りする大鰐温泉の「あゆ」。カラオケステー
ジもあり地元の常連で毎夜賑わう。大鰐の温泉街には10軒ほどの
スナックがあり、1軒目、2軒目とはしごするのも楽しい。レトロな街
並みを歩けば、かつては芸者さんが闊歩した花街の面影が感じられる。

大鰐町 大鰐町のスナック巡り おおわにまちのスナックめぐり
☎ 0172-48-2335 (大鰐町商工会内大鰐温泉商店会) / 弘南鉄道大鰐駅より
徒歩で約8分



弘前シードルを飲み比べ!

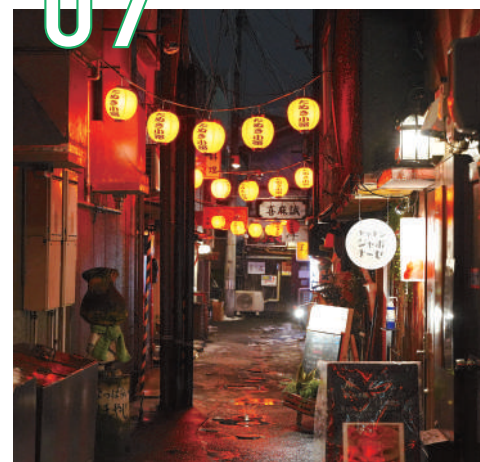
弘前れんが倉庫美術館併設
のカフェでは、シードルの飲み
比べセットを提供。倉庫をリノ
ベした店内は雰囲気も抜群。

弘前市 cafe & shop BRICK
カフェ アンド ショップ ブリック
☎ 0172-40-2775 / JR 奥羽本線弘前駅よりバスで約10分
(中土手町下車徒歩で約4分)

03



07



人情と美味が詰まった横丁街

8つの横丁がある八戸の中心街。ポップなお店も
ディープなお店も、気分に合わせてはしご酒。

八戸市 八戸横丁 はちのへよこちょう
☎ 0178-72-3311 (八戸横丁連合協議会) / JR 八戸線
本八戸駅より徒歩で約10分



08

どでか市場で飲んで食べて

市場に並ぶ海鮮をその場で焼いて
食べられる「七厘村」が人気。ビールや
地酒と相性抜群のグルメが揃う。

八戸市 八食センター
はっしょくセンター
☎ 0178-28-9311 / JR 東北新幹線
八戸駅よりバスで約15分



09

マグロ漁師とめぐる大間の夜

マグロの町・大間を夜に歩く観光ツアーを実施中。しかもガイド
はマグロ漁師。地元居酒屋を巡り、北の港町の人情とグルメを体感。



大間町 大間町ナイトツアー
おおまちなイトツアー
☎ 0175-31-1270
(しもきたツーリズム)
/ JR 大湊線下北駅より
車で約60分



11

温泉街で生まれた クラフトビール

温泉街に佇むモダンな醸造所
併設のビアパブ。自社ビールを4
〜6種常時提供。風呂上がりに
ぴったりの飲み口キレイなビール
は食事に寄り添う。

青森市 螢火醸造 けいかじょうぞう
☎ 017-764-6920 / 青い森鉄道浅虫温泉駅より
徒歩で約5分

12



下北の風土が育むワイン

ぶどう栽培から醸造まで自社
で一貫製造。雪国ならではの酸
味豊かなワインの試飲も可能。

むつ市 サンマモルワイナリー
サンマモルワイナリー
☎ 0175-42-3870 / JR 大湊線大湊駅より車で約30分



13

下北の長芋と水が生む 本格焼酎

下北半島唯一の本格焼酎蔵。地
元で採れた長芋を使用し、スッキリ
とした飲み口。工房の見学も可能。

南部杜氏が醸す 伝統的地酒

創業130年を超える老舗蔵。厳冬期に
仕込まれる酒は、南部杜氏の技が光る芳
醇な味わい。酒蔵見学(要予約)もできる。



「種差×世界」の料理で乾杯!

種差海岸天然芝生地周辺で
12月〜2026年3月に月1回、八
戸の人気店が集まった野
外バルイベントを開催!



八戸市 「種差×世界」のバル
☎ 0178-38-8420 (ACプロモー
ト) / JR 八戸線種差海岸駅より
徒歩で約3分



10

下北の夜を彩る横丁文化

下北半島の総鎮守・田名部神社近くに広がる
神社横丁。下北ならではの酒と肴を楽しめる。

むつ市 神社横丁 じんじゃよこちょう
☎ 0175-22-1111 (むつ市観光・シティプロモーション課)
/ JR 大湊線下北駅より車で約10分



14

溪流の恵みで造る ビールを嗜む

併設されている醸造所で
造った奥入瀬ビールを飲め
る直営レストラン。県産食材
を使った料理や特に店内
で焼いたピザがおすすめ。

十和田市 奥入瀬ビール ブルワリー アンド レストラン
おいらせビール ブルワリー アンド レストラン
☎ 0176-27-1317 / JR 東北新幹線七戸十和田駅より車で約40分

15



おいらせ町 桃川酒造
ももかわしゅぞう
☎ 0178-52-2241 / JR 東北
新幹線八戸駅より車で約20分

絶景を
満喫!

JOYFUL TRAIN

リゾート列車で旅する東北

八戸線

TOHOKU EMOTION

列車全体がレストラン空間の東北レストラン鉄道

TOHOKU EMOTIONは、車窓に広がる三陸の海を眺めながらゆっくりとお食事を楽しんでいただける「東北レストラン鉄道」です。東北の食材を使ったオリジナルメニューや、東北各地の伝統工芸をモチーフとしたインテリアなど、味覚だけでなく視覚も刺激してくれます。受け継がれてきた美食と絶景を、心ゆくまで堪能ください。



2026年1月中旬より、車両検査のため運行しません。運転開始時期についてはJR東日本「のってたのしい列車ポータル」サイトをご確認ください。

往路は神楽坂「Floraion」佐藤貴平シェフ監修のランチコース、復路はホテルメトロポリタン盛岡のシェフパティシエ特製のオリジナルデザートを提供します。

※期間中の金・土・休日を中心に運行

※ご予約はJR東日本「のってたのしい列車ポータル」予約ページをご覧ください。

※右のお料理の画像は2025年10月～2026年1月のイメージです。

予告なく変更になる場合がございます。



TOHOKU EMOTION

アミューズ



ヴィアンド



デザート



五能線

リゾートしらかみ



リゾートしらかみ「樫」編成

※列車の運行状況など詳しい情報はJR東日本「のってたのしい列車ポータル」サイトをご覧ください

白神山地の山々と日本海が 車窓に広がる

世界自然遺産の白神山地の麓、風光明媚な日本海沿いの五能線を走る「リゾートしらかみ」。「青池」「樫」「くまげら」の3編成が運行されており、開放感ある車内から雄大な白神山地や、夕陽が沈む日本海など美しい風景をのぞめます。「樫」編成の内装にはシンボルツリーの樫をはじめ、天然秋田スギ、青森ヒバなど沿線の木材をふんだんに使用しており、大自然を感じながらの旅を楽しめます。

モバイルオーダー
「このたび
(うけとりっふ)」

このサービスは、お客さまご自身のスマートフォン等で事前にお弁当やスイーツをご注文いただき、ご乗車当日に駅のホームなどで商品を受け取っていただく、新しい列車旅のカたちです。



詳しくはこちら

大湊線

「ひなび下北」

日常を離れ 地域とつながる ゆったり鉄道の旅

八戸～大湊間で運行中!

2026年1月中旬～2026年3月下旬は、車両検査のため、運行しません。



おトクに巡れるフリーパスをチェック!

津軽エリアのJR線・弘南鉄道・津軽鉄道・弘南バスの一部路線が乗り放題の「津軽フリーパス」をはじめ、東北地方のおトクなきっぷ情報は右の二次元コードから!



東北の
おトクなきっぷ

JR 東日本「のってたのしい列車ポータル」サイト

TOHOKU EMOTION、リゾートしらかみ、ひなび下北の運転日、時刻など詳しい情報はこちらから



のってたのしい
列車

お土産にお買い物、グルメが楽しめる 駅からすぐ! なスポットをご紹介します!



青森駅 A-FACTORY

青森の地元食材を使ったスイーツやりんごのお酒シールドが楽しめる複合施設。2025年12月には開業15周年を迎える。

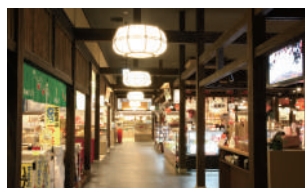
【営業時間】 10:00～19:00
【住所】 青森県青森市柳川1-4-2
【電話番号】 017-752-1890



青森駅 ラビナ・& LOVINA

デザイン性の高い工芸品や、パッケージが素敵なお酒など、気の利いたお土産も揃う青森駅の駅ビル。飲食店も11店舗でバラエティ豊か。

【営業時間】 10:00～20:00
【住所】 青森県青森市柳川1-2-3
【電話番号】 017-734-1211



新青森駅 あおもり旬味館

JR東北新幹線の新青森駅の駅ナカ施設。出発前の腹ごしらえにちょうど良い飲食店はもちろん、車内で食べたいお弁当、お土産はこちらで。

【営業時間】 9:00～20:00
(飲食ゾーンは21:00まで)
【住所】 青森県青森市石江高間140-2
【電話番号】 017-752-6557



弘前駅 アブリーズ

弘前駅の駅ビルで、ファッションアイテムやカフェだけでなく、弘前をはじめとする青森特産品のお土産も充実。お酒の品揃えもなかなか。

【営業時間】 10:00～20:00
【住所】 青森県弘前市表町2-11
【電話番号】 0172-36-2231

※一部営業時間の異なる店舗がございます。